

上山次官、町田坪井正副參政官、磯部局長及各委員等出席河野農相議長席につき第三諮問案「官民製鐵事業の調査に關する事項」及第四諮問案「製鐵業の發達を促すに必要なる事項」につき政府當局より説明する處あり了つて第四案につき協議し質問應答並に政府の辯明等あり結局特別委員に附託する事に決し次で第三案に移り之れ又議長指名の特別委員に附託する事とし一先つ當日を以て本會議を打切り六時半散會せるか各特別委員は各案につき答申案を作成し更に本會に附議する筈なりと

第十七日(六月一日)

製鐵調査會第三第四諮問事項及び別項の特別委員會は一日午後一時半より第一回の協議會を開會諮問事項に付協議せり

第三、諮問事項附託特別委員(議席順)

委員長 高崎親章 寺野精一 服部 漸

香村小録 福井菊三郎 依國 一

大河内正敏 和田維四郎 福田馬之助

第四、諮問事項附託特別委員

委員長 中村雄次郎 門野重九郎 原田鎮治

阪田貞一 丸田秀實 井上匡四郎

島安次郎 渡邊 島川文八郎

現在及將來需用さるる鐵鋼を品別調査の件附託特別委員

委員長 高崎親章 香村小録 福井菊三郎

倭國 一 井上匡四郎

第十八日(六月三日)

製鐵業調査會の第四部特別委員會は三日午後一時半より農商務省に開會中村委員長外各委員並に各關係當局者出席し諮問案第四「製鐵業の發達を促すに必要なる事項」に就き種々協議を重ねたり

●製鐵調査進捗

製鐵調査會は客月八日第一回協議會を

開催し農商務省提出諮問事項に對する答申案に付き本會或は特別委員會を開くこと十餘回に及び既に第一第二諮問事項の答案を作成し得るに至りたり、而して殘餘の第三、第四諮問事項並に委員提出の協議案に就ては夫々特別委員會を重ね會議大に進捗したるも八幡製鐵所を視察し實施上に

付き調査講究の要あるに依り、製鐵調査委員は來る十六、七の兩日右製鐵所を視察することに決定したり、尙ほ第四諮問事項及委員提出協議數項附託特別委員會は右視察員歸京後二十三日頃開會する筈なりと云ふ。

●製鐵所實地視察 製鐵業調査會の委員連は實地研究の爲め八幡製鐵所を視察する事となり此程福田馬之助、高崎親章、丸田秀實、香村小録、大河内正敏、井上匡四郎、島安次郎の七氏東京を出發せるが尙磯部鑛山局長も十四日午後四時發の列車にて下向せり。

●X光線で鋼鐵透視 神戸三菱造船所の技師戸波親平氏は數年間英國に於て金屬に關する化學的研究をなし歸來三菱造船所内に金屬其他の化學研究所を設け曩には歐米に於ても其例なき頗る強力なる鋼鐵メタルを發明して專賣權を得其他金屬研究の結果を數次歐米の機關雜誌に發表して世界の採礦冶金界に貢獻する事尠からざりしか今回更にX光線を以て金屬を透視するの研究を試みて之れに成功せり、氏は昨年米國のドクトル、デビー氏か從來絶対に透視する能はずと思惟されたる金屬も之れを強度なるX光線に照らせは透視し得へしと云ふ學説を發表せしに基き種々研究し來りしものにて、工藝製作品に應用し金屬鑄肉の内部に空虚ある製品又は他の不純物を混せる製品は一見之れを識別する事を得るなりといふ、右につき同造船所は專賣權を獲得し之れを凡らゆる金屬工業に應用する筈なるか氏の實驗に依り未だ透視し得られざるものは鉛とプラチナなりと。